

軽量ラック ステンレスラック

軽量ラック MI-□□□□□
ステンレスラック MI-S□□□□□



もくじ

1. 安全上のご注意 …………… 1
2. 未永くご使用いただくためのご注意 … 3
3. お手入れのしかた …………… 4
4. 故障かな？と思ったら（不調診断） … 4
5. 組み立てかた …………… 5

このたびはコクヨ商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

〈保証内容のご確認とお願い〉

- この取扱説明書（本書とする）は、記載内容（無料修理規定）に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 無料修理を受けられる場合は、本書と「ご購入明細書」の両方が必要になります。お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、本書とともに大切に保管してください。
- ※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書（製品明細の記載があるもの）」のことです。

〈保証期間について〉

- 保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間（週5日として1日8時間）の労働時間を想定しています。

- 電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お客様の個人情報の利用について

ご購入明細書に記入されている、お客様の個人情報は保証期間内の修理・交換活動にのみ使用し、それ以外の目的に利用したり、第三者に提供することは一切ございません。

〈無料修理規定〉

- 1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室へご相談ください。
- 3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 4.保証期間内でも以下の場合には有料となりますのでご了承願います。
 - (イ)本書、およびご購入明細書のご提示が無い場合
 - (ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
 - (ハ)消耗部品（弊社指定部品）の交換
 - (ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
 - (ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
 - (ヘ)故意・過失に関係なく、使用上の誤りによる故障または破損
 - (ト)加工・改造、不当な修理による故障または破損
 - (チ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
 - (リ)使用上の消耗により発生する異音などの現象変質またはさびかびの発生
 - (ヌ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
 - (ル)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象（におい、音鳴りや振動など）
- 5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店、またはお客様相談室までご相談ください。
- 6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 7.本書およびご購入明細書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <http://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル（全国共通）

お客様相談室 ☎ 0120-201-594

受付時間：9時～17時（土日祝日・年末年始・夏期休業中を除く） 1601210018BKH

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。



警告

- お客様で、解体や移設・レイアウト変更をしないでください。

組立・施工が不十分ですと、破損や転倒により、けがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

- 商品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

商品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

・この商品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。

・この商品をご使用になる室内が著しく高温多湿（温度28℃、相対湿度50%超が目安）になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。

けがや故障・破損の原因になります。

- 商品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。

誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

- 設置する床が、本体質量とそれぞれの耐荷重（③ページ参照）の合計重量に十分耐えられるか、必ず確認してください。

床抜けなどによる事故のおそれがあります。

- 組み立てるときなど、無理な力を加えないでください。

けがの原因になります。

- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所には設置しないでください。

転倒してけがの原因になります。

①

- 設置の際は、本体の水平を保つように調整してください。

傾いた状態で設置すると、本体にゆがみが出て、棚の落下などけがをするおそれがあります。

- 本体は、転倒防止のために、別売のウォールブレース(MIK)、トップブレース(MIJ-15・MIJ-20)、床固定用のベースプレート(MIL)などを使用し、壁面や床に固定することをお勧めします。

地震などの揺れにより、本体が倒れてけがをするおそれがあります。

- 運動具や乗り物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。（特にお子様に注意してください。）

転倒や破損により、けがをする原因になります。

- ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。

やけどや火災の原因になります。

- 使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）

けがの原因になります。

- 最上段と最下段の棚板は、絶対に外さないでください。

不安定になり、破損してけがをする原因になります。

- 商品の上に立ち上がったり、足や腰を掛けたりしないでください。

転倒や転落により、けがをする原因になります。

- ファスナーは、確実に取り付けてください。（⑥～⑩ページ参照）

確実に取り付けていないと、落下などにより、けがをするおそれがあります。

- 棚受けは、2カ所とも同じ高さに取り付け、爪が支柱に確実に入っていることを確認してください。

棚にのせているものが落下するおそれがあります。

- 棚板に登らないでください。

棚が外れたり、本体が倒れて、けがをする原因になります。

- ガラスなどの割れ物や精密機器、薬品、その他の危険物を収納しないでください。

収納物が落下して破損・故障し、けがや事故の原因になります。

- 棚板の手前にものをのせたり、はみ出しておかないでください。

ものが落下して、けがをする原因になります。

- 耐荷重(下表の数値)を超えて、ものをのせないでください。

棚板1枚当たりの耐荷重：

1.47KN(約150kgf)

本体1連当たりの耐荷重：

7.35KN(約750kgf)

棚板がたわんでもものが落下したり、本体が倒れてけがをする原因になります。

- 上段に偏った収納は、しないでください。

本体が倒れてけがをする原因になります。

②

1.安全上のご注意

- 最上段の棚板にものをのせないでください。
のせているものが落下したり、本体が倒れてけがをする原因になります。
- 専用のオプションパーツ以外は取り付けしないでください。
落下して破損したり、けがをする原因になります。
- 商品の分解や改造はしないでください。
けがや破損の原因になります。
- ボルト・ネジやはめ込み部がゆるんだまま使用しないでください。
本体の変形・破損や転倒により、けがの原因になります。早めに締め直したは、はめ直してください。
- 溶接外れやリベットのゆるみなど、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用していると、商品の破損により、けがをするおそれがあります。
- 棚板や支柱などが変形した状態で使用しないでください。
落下や転倒などにより、けがをする原因になります。
- 商品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。
誤った使いかたや事故を防止するためのもので、ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。
- この商品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

2.末永くご使用いただくためのご注意

- この商品は室内または屋内用です。
屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・変色の原因となります。
- 棚板への収納物の出し入れはゆっくり行ってください。
棚板に衝撃を与えると、変形するおそれがあります。
- 棚板への収納は均等に行ってください。
中央に偏ると棚板が変形するおそれがあります。
- 床板に偏ってものを置いたり、荷重をかけないでください。
床板が破損する原因になります。
- ときどき、ボルト・ネジやはめ込み部のゆるみによるかたつきがないか点検し、ある場合は締め付けまたは、はめ込んでください。

3.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
 - 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。
- 〈汚れを落とすときの注意〉
水にぬれたままにしておいたり、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。
変色や変形のするおそれがあります。

4.故障かな？と思ったら（不調診断）

こんなときは	こう処置してください
● 商品がグラグラ（ガタガタ）する。	各はめ込み部がきっちりと支柱に入っていないことが考えられます。入っていないときは、はめ直してください。（「5.組み立てかた」参照）
● 棚板がグラグラ（ガタガタ）する。	棚受けの爪が支柱にきっちりと入っていない、または棚板が棚受けのガイドの内側に入っていないことが考えられます。入っていないときは、入れ直してください。（⑥ページ参照）

※ 以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

5.組み立てかた

△注意

商品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。

誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

本体 () はステンレスラックの金属ベースの場合に付属している部品です。

梱包品番	部品の種類	タイプ	
		基本	増連
MIH-□	支柱	4	2
MIL-□	ベース	4 (ボルトM6×10)	2 (ボルトM6×10)
MIN-□U	上下段棚受け	4	4
MIA-□	ビーム ファスナー	4	4
MIN-□	棚受け	8	8
MIT-□□□	棚板	6	6
		5	5

背面パネル

品番	630・640 730・740	650・750	660・760
品目の種類			
背面パネル	1	2	2
取付金具	8	8	8
根角ボルトM6×10	16	16	16
六角ナットM6	16	16	16
ファスナー	8	12	13

側面パネル MIP-60□・MIP-70□

部品の種類	数量
側面パネル	1
取付金具	4
ファスナー	8

背面金網 MIM-6□0・MIM-7□0

部品の種類	数量
背面金網	1
固定バンド	10 (うち2は予備)

側面金網 MIM-60□・MIM-70□

部品の種類	数量
側面金網	1
固定バンド	10 (うち2は予備)

落下防止バー MIW-□

部品の種類	数量
バー	1
取付金具	2
受金具	2
ジョイントキャップ	2
六角ナットM6 (座金付き)	2
ファスナー	2

移動仕切板 MID-20□

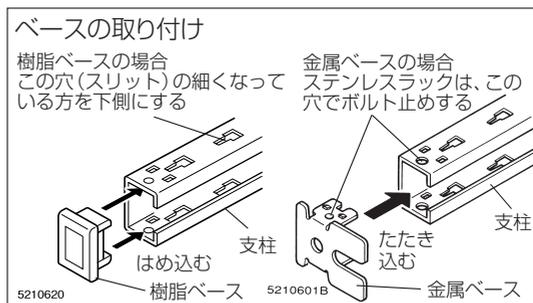
部品の種類	数量
仕切板	1

側当たり MIF-□

部品の種類	数量
側当たり	1

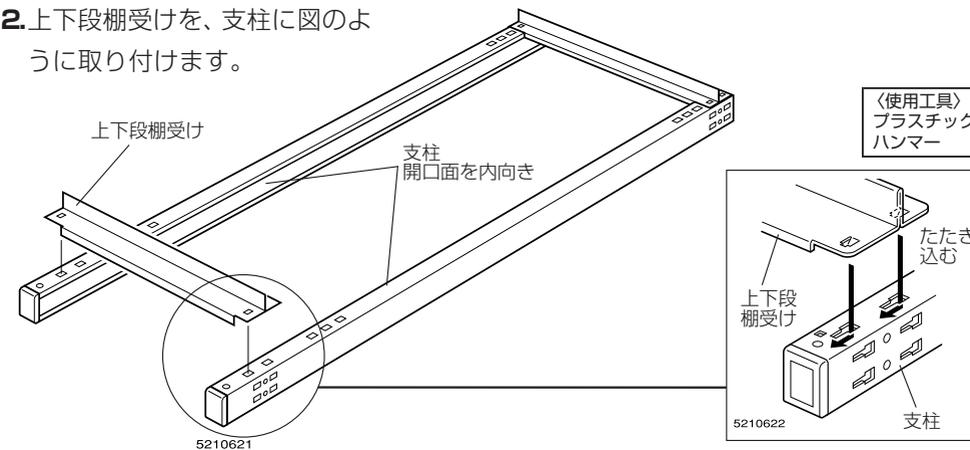
2 本体の組み立てかた

1. 支柱下部にベースを取り付けます。

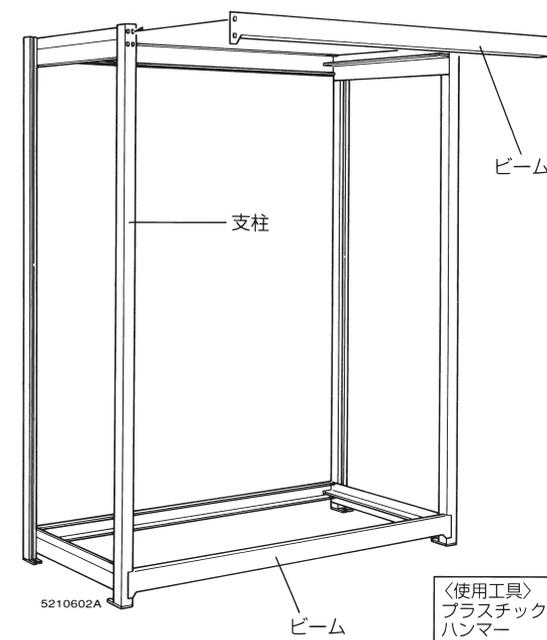
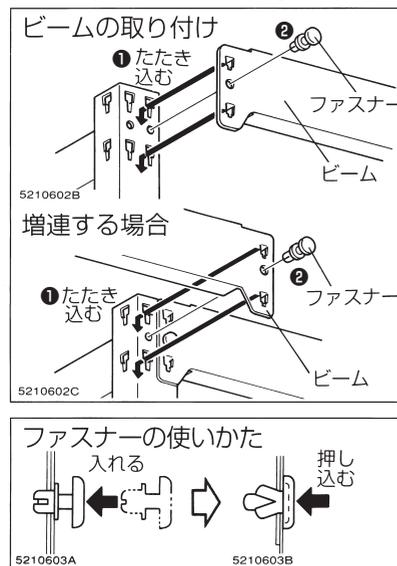


⑤

2. 上下段棚受けを、支柱に図のように取り付けます。



3. 「1」で組み立てた枠組に、ビームを図のように取り付けます。



△注意

ファスナーは、確実に取り付けてください。

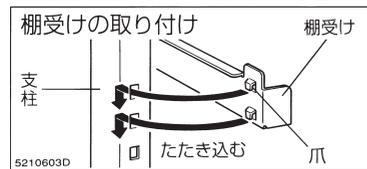
確実に取り付けしていないと、支柱とビームが抜けて、落下などにより、けがをすることがあります。

⑥

5.組み立てかた

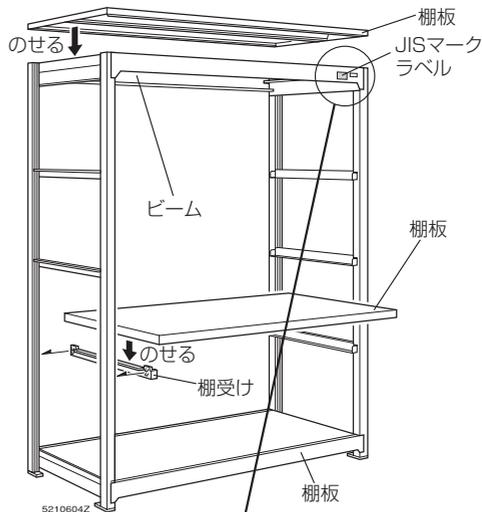
4.棚板を、上段棚受けに右下図のようにのせてください。

5.棚受けを支柱に取り付け、棚板を図のようにのせてください。



△注意

棚受けは、2カ所とも同じ高さに取り付け、爪が支柱に確実に入っていることを確認してください。棚にのせているものが落下する原因になります。



JIS認証仕様商品の場合(軽量ラックのみ)

JISマークラベルを現場で貼り付けてください。

※ラベルは、部品とは別途用意されています。

※標準仕様商品の場合、ラベルは不要です。

〈貼付位置について〉

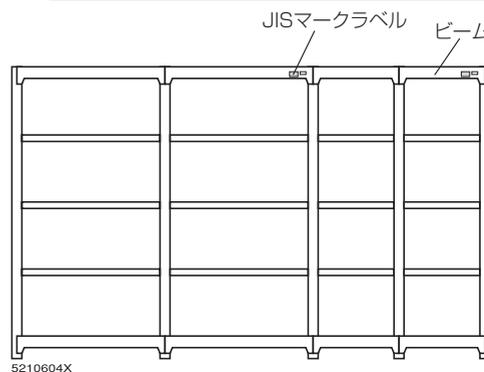
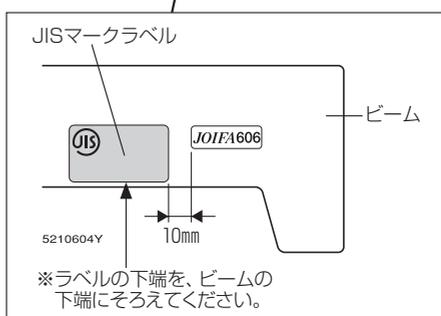
●JISマークラベルには呼び寸法が記載されています。

寸法に合ったサイズのラックに貼り付けてください。

●JISマークラベルを、ビーム右端に図のように貼り付けてください。

●増連している場合、右端本体に貼り付けてください。

※幅寸法が違う本体が並んだ場合、図のように同じ幅寸法どうしの右端本体に貼り付けてください。



以上で、本体の組み立ては完了ですが、ガタツキがないか確認してください。

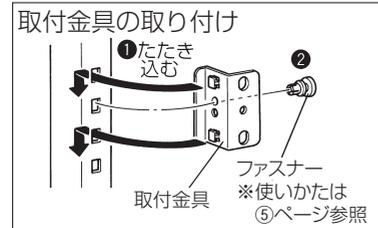
⑦

4 オプション類の取り付け

〈背面パネル〉

1.取付金具を、支柱に取り付けます。

2.背面パネルを、取付金具にボルト・ナットで図のように取り付けます。



△注意

ファスナーは、確実に取り付けてください。

確実に取り付けしていないと、取付金具や背面パネルが抜けて、落下などにより、けがをすることがあります。

〈側面パネル〉

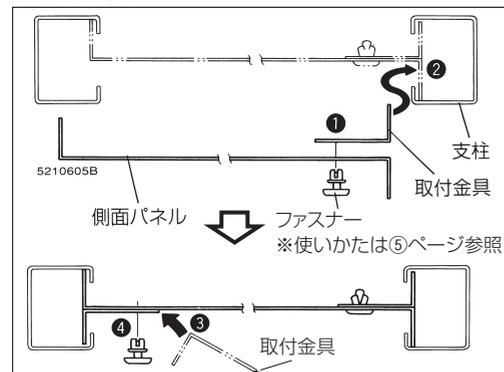
1.側面パネルの片側に取付金具を取り付け、図のように支柱に入れます。

2.側面パネルのもう一方も支柱に入れ、取付金具を図のように取り付けます。

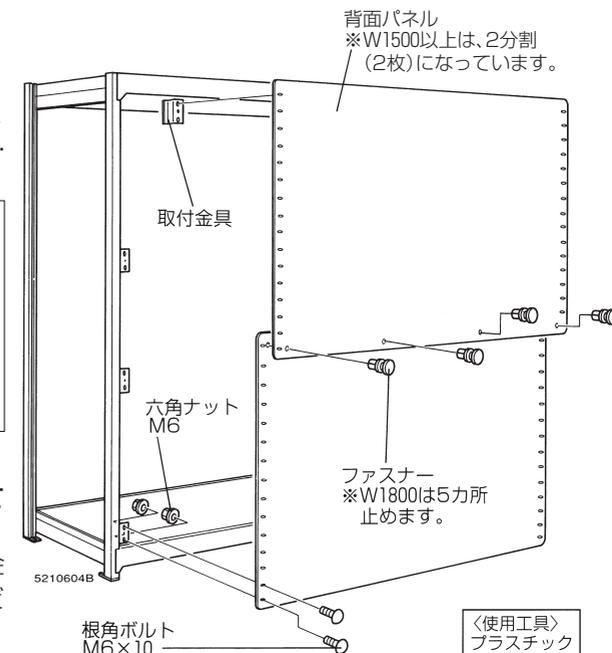
△注意

ファスナーは、確実に取り付けてください。

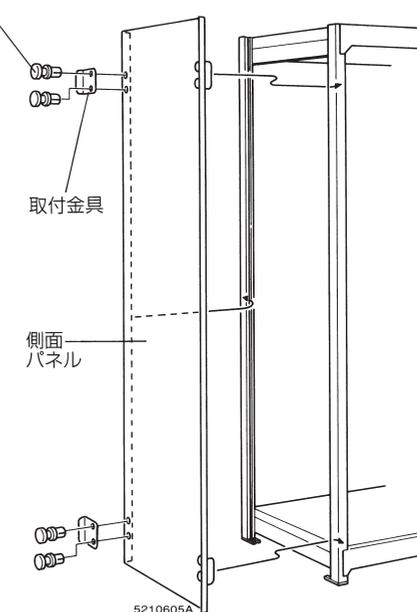
確実に取り付けしていないと、取付金具や側面パネルが抜けて、落下などにより、けがをすることがあります。



⑧



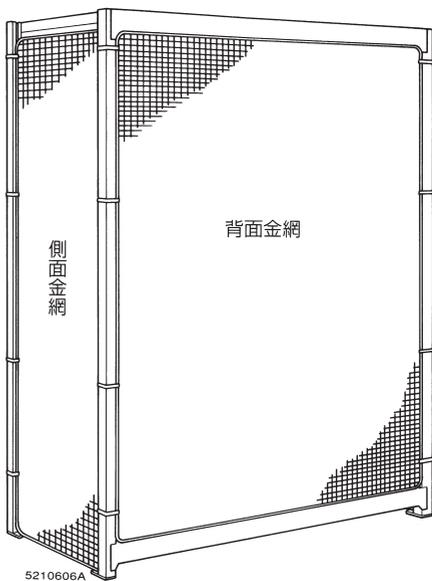
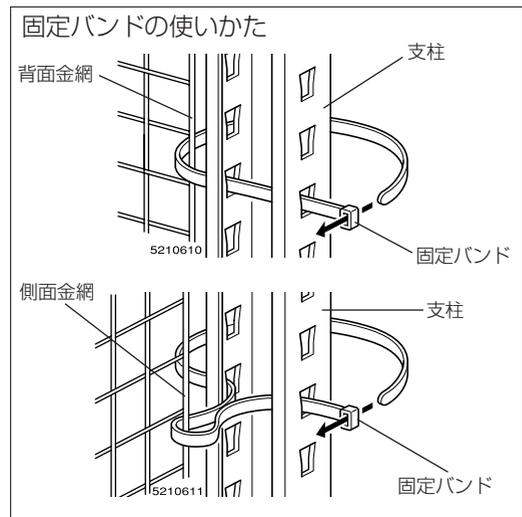
〈使用工具〉
プラスチック
ハンマー
スパナ
(対辺10mm)



5.組み立てかた

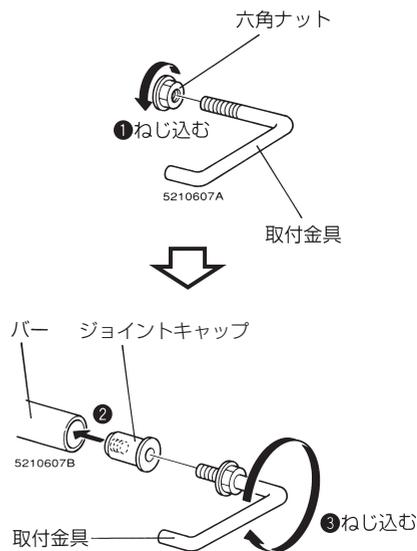
〈背面金網・側面金網〉

金網を、図のように固定バンドで支柱に取り付けます。



〈落下防止バー〉

1. 取付金具に六角ナットをねじ込みます。
2. バーの両端にジョイントキャップを入れ、取付金具をいっぱいまでねじ込みます。(両端の取付金具の向きを合わせます。)

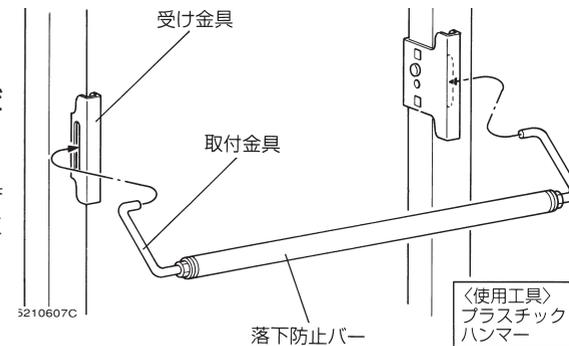
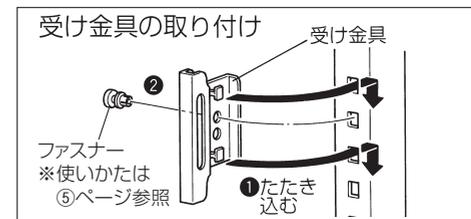


3. どちらか一方の受け金具を、支柱に取り付け、ファスナーで固定します。

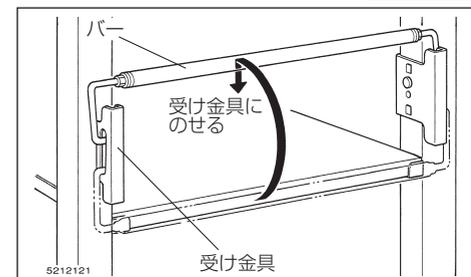
4. バーの一方の取付金具を、「3」の受け金具に入れて、もう一方の取付金具を受け金具に入れて支柱に取り付け、ファスナーで受け金具を固定します。

△注意

ファスナーは、確実に取り付けてください。
確実に取り付けしていないと、受け金具や落下防止バーが抜けて、落下などにより、けがをすることがあります。



- ※ 棚板へ収納後は、バーを図のように受け金具にセットします。



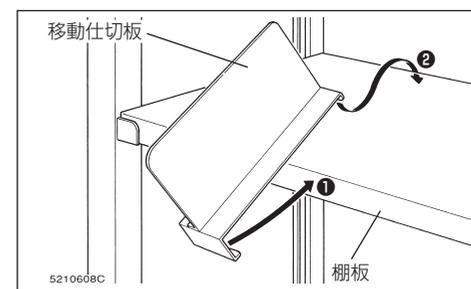
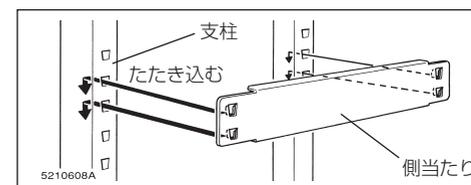
〈側当たり〉

側当たりを、図のように支柱に取り付けます。

〈移動仕切板〉

移動仕切板を、図のように棚板へ取り付けます。

- ※ 移動仕切板を取付後、移動させるときは、必ずいったん外して取り付けてください。棚板上でスライドさせると、棚板に傷が付くことがあります。



以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。